

# タッチタイピング入門: 英字バージョン

久野 靖\*

2012.7.11

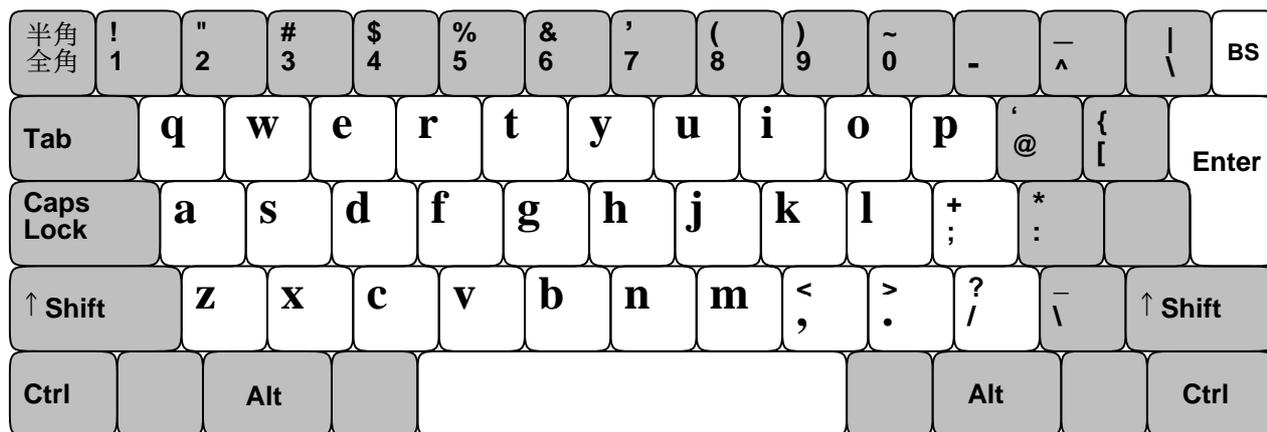
## 1 はじめに

このテキストでは、「タッチタイピング」を学ぶやり方を説明しています。タッチタイピングとは、コンピュータのキーボードを「キーを見ないで」打つやり方です。カッコいいけど、私にはむずかしそう! と思いますか? いいえ、そんなことはありません。誰でも、あわせて数時間、きちんとしたやり方で学べばマスターできます。

タッチタイピングは、いちばん疲れずに、スムーズに、速くキーボードを打つやり方ですから、体のためにもよいのです。そして、考えていることが滑らかにコンピュータに打ち込めますから、考えたことを書きとめる、ベストなやり方の一つです。ぜひ、マスターしてください。

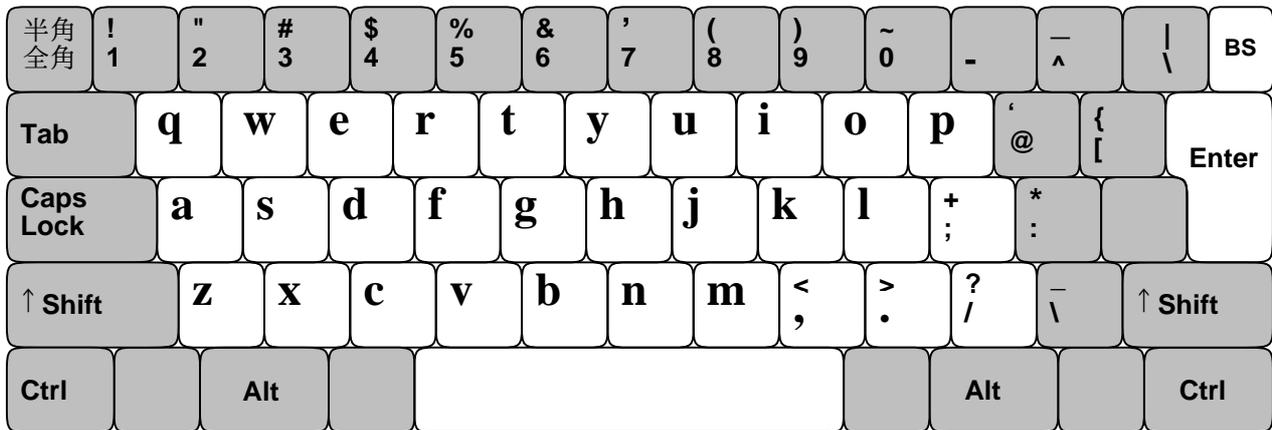
## 2 キーボードとソフト

ここでは、皆さんの使っているパソコンのキーボードのうち、一部のキーだけを使います。具体的には、下の絵で白く描かれているキーです。パソコンによってキーボードは少しずつ違いますが、白くないところは使わないので、違っていても構いません。英字のキーには大文字が書かれていますが、この練習では小文字だけ打つので、絵では小文字がかいてあります。



練習には、「メモ帳」などの打った字がそのまま入るソフトならどれでも使えます。皆さんは最後は日本語を打つことになるでしょうけれど、ここでは練習なので英字がそのまま入るように使ってください。練習のためのソフトのせっけいは、先生などに教えてもらってください。

\*筑波大学ビジネスサイエンス系



### 3 ホームポジション

タッチタイピングで大切なのは、キーボードを見なくても打てるようになることです。どこに何があるか忘れた時は、キーを見るのはがまんして、絵を見てください。そのため、どのページにもキーボードの同じ絵を載せています。

皆さんが使う指は、親指を除く左手と右手の4本ずつの指です。親指は、スペース文字を打つためのキーであるスペースバーにだけ使います。そして皆さんがまず覚えるのは、「ホームポジション」です。左手の4本の指を **a**、**s**、**d**、**f**、右手の4本の指を **j**、**k**、**l**、**;** に置いてください。親指は軽くスペースバーに載せます。目をつぶって、確かめてください。人さし指のところのキーが、出っぴりがあったり、窪んでいて、それと分かるはずですよ。

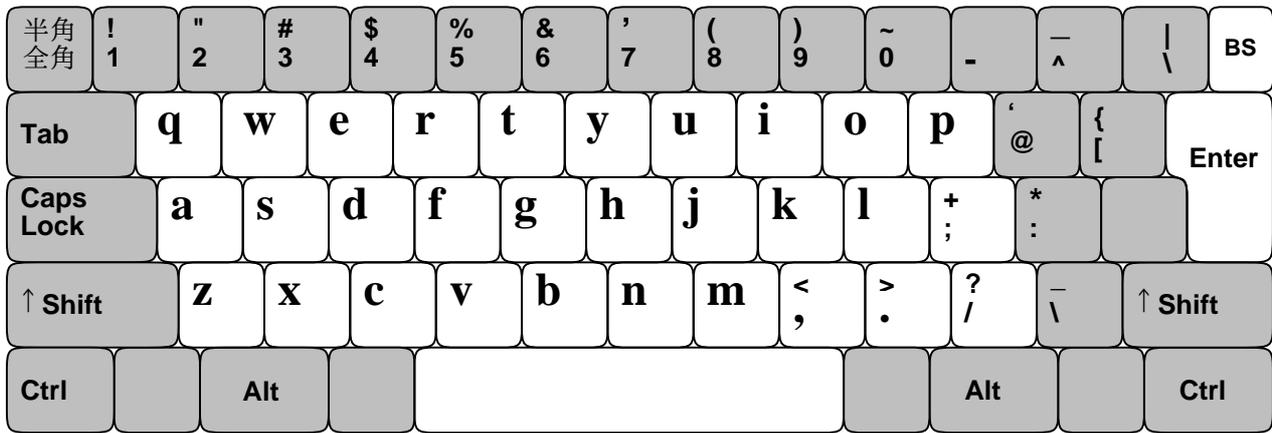
キーボードから手をは離してください。次に、キーボードを見ないで、ホームポジションに戻してください。見なくてもさっともどせるように、繰り返しやってみてください。

### 4 打ってみよう!

では、ホームポジションに手を置いたまま、キーを打ってみましょう。キーボードは見ないでね! どうしても見てしまうときは、手の上にハンカチをかぶせて練習してください。ゆっくりでもいいので、次のとおり打ちましょう。

```
asdf jkl; asdf jkl; asdf jkl; asdf jkl;  
asdf jkl; asdf jkl; asdf jkl; asdf jkl;
```

間をあけるところは、好きなほうの親指でスペースバーを打ってください。適当な長さまできたら、右はしのエンターキーを打って行をかえてください。エンターキーを打つには、右手の小指をえいっと右に伸ばせばよいです。打ち終わったら、小指をホームポジション( **;** のところ)に戻すのをわすれないで。これを何回か繰り返し、練習してください。繰り返すことで指が覚えるので、このテキストの枠内の練習課題はすべて、「10回」繰り返して打つことをすすめます。



## 5 ホームポジションの指づかい

では次は、ホームポジションに指を置いたままで打てるローマ字づかいを練習してみます。ローマ字なので、読みあげながら打ってみてください。打とうとしているキーがどの指だったか分からなくなったら、絵を見て確認してください。

```
sasasa dadada dasadasa asasa asada fasafasa fadafasa dasafasa
kasakasa jakajaka akada kakada fakaja jakasa dakasa kajada
```

急ぐ必要はないので、ゆっくりと、何回かくりかえして、間違えずに打てるようになるまでやってください。間違えたときは、打ちなおさなくてもよいです。そのかわり、その言葉のはじめから、もういちど打ってください。エンターキーでの行かえは、好きなどころで入れてかまいません。

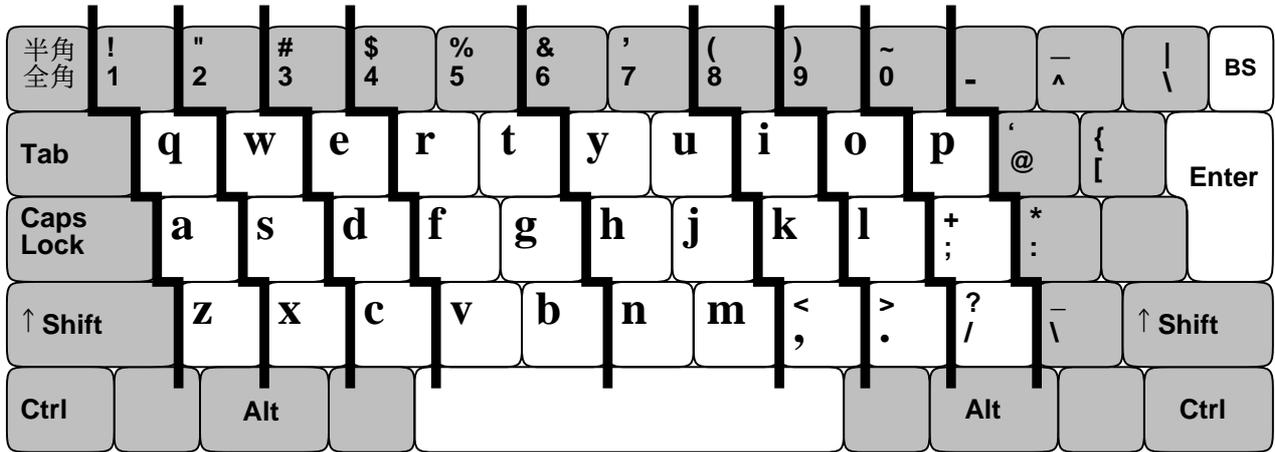
## 6 g と h の追加

では次に、ホームポジションから人さし指を内側に動かしたところにある、**g** と **h** を練習しましょう。

```
fgf jhj fgf hjh fggf jhhj fggh jhhj fghj fghj jhgf jhgf
asdfg hjkl; asdfg hjkl; asdfg hjkl;
```

では次に、**g** と **h** を入れたローマ字づかいを練習します。ゆっくりでいいので、繰り返し、練習してみてください。

```
gasagasa gadagada hakasa haga saga hasa kaga hada
faga jaga haga gaka gahagaha hahaha kahaha hakka
```



## 7 左手の上下段

では、中段をマスターしたところで、上と下の段に進むことにします。左手からやりましょう。指の受け持ちは、**a**担当の小指が、その上の**q**、その下の**z**も打つ、というふうになります。動かして1文字打ったら、必ずホームポジションに戻すこと! どの指か分からなくなったら、絵で確認してね。繰り返し打って、覚えましょう。

```
aqa aza sws sxs ded dcd frf fvf ftf fgf bfb
aqa aza sws sxs ded dcd frf fvf ftf fgf bfb
```

次はローマ字の指づかいです。だいぶいろいろ、打てるようになりました。これも、繰り返して練習してください。

```
zakazaka wakasa zakka wakka zawazawa wazawaza
dekedeke dekadeka chacha kesa sake eda eja eka eeka
rakka rekka taka geta baka barabara garagara gabagaba
reba taraba saraba barasa bakara bakera kabara
taraba batara etara hatara katara karate hatarake
```

## 8 右手の上下段

いよいよ、右手の上と下の段をやって、これでおしまいです! **,**と**.**は「、」と「。」を打つのに使います。繰り返し練習してください。

```
juj jyj jhj jnj jmj kik k,k lol l.l ;p; ;/;
juj jyj jhj jnj jmj kik k,k lol l.l ;p; ;/;
```

ぜんぶ使ったローマ字の指づかいです。これでぜんぶの字が打てるようになりました。あせらずに、たくさん練習してください。

```
kaju kaya naya hama yama maya mae nae ue yane mane hane une numa
kine kaki miki eki oki mono pann pacha ocha socha chekku banana
kyou wataha, asa hayaku okimasita. gakkouni ikimasita.
gakkoudeha, pasokonno benkyou simasita. totemo tanosikatta.
jibunga omotta toorini, mojiwo utsunoha, kimochiga iidesu.
```